

**製品名: COMT ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09227**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	30kDa

**抗原情報**

遺伝子名	COMT
別名	COMT; Catechol O-methyltransferase
遺伝子 ID	1312.0
SwissProt ID	P21964
免疫原	抗血清はヒト COMT 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

**背景**

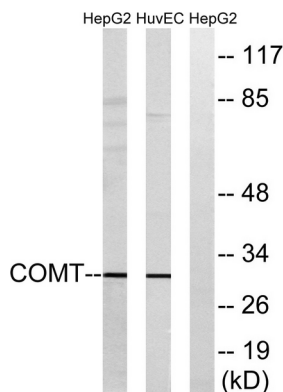
カテコール-O-メチルトランスフェラーゼは、S-アデノシルメチオニンからカテコールアミン（神経伝達物質ドーパミン、エピネフリン、ノルエピネフリンを含む）へのメチル基転移を触媒します。この O-メチル化は、カテコールアミン伝達物質の主要な分解経路の

一つとなります。内因性物質の代謝における役割に加えて、COMTは高血圧、喘息、パーキンソン病の治療に使用されるカテコール系薬剤の代謝においても重要です。COMTは組織中で可溶性型(S-COMT)と膜結合型(MB-COMT)の2つの形態で存在します。S-COMTとMB-COMTの違いはN末端にあります。代替の翻訳開始部位とプロモーターの使用により、いくつかの転写バリエーションが形成されます。[RefSeq提供、2008年9月]、触媒活性:S-アデノシル-L-メチオニン + カテコール = S-アデノシル-L-ホモシステイン + グアイアコール。、補因子:サブユニットあたり1個のマグネシウムイオンを結合します。、機能:カテコールアミン神経伝達物質およびカテコールホルモンのO-メチル化を触媒し、それによって不活性化します。また、L-DOPA、 $\alpha$ -メチルDOPA、イソプロテレノールなどの特定の神経刺激薬の生物学的半減期を短縮します。、質量分析: PubMed:8020475,オンライン情報:カテコール-O-メチルトランスフェラーゼエントリ,多型:酵素活性の低い対立遺伝子は、アルコール依存症に対する遺伝的感受性と関連しています[MIM:103780]、多型:Val-158を持つCOMT\*1またはCOMT\*Hと、Met-158を持つCOMT\*2またはCOMT\*Lの2つの対立遺伝子は、酵素活性に3~4倍の差をもたらします。、PTM:N末端がブロックされています。、類似性:哺乳類のカテコール-O-メチルトランスフェラーゼファミリーに属します。、組織特異性:脳、肝臓、胎盤、リンパ球、赤血球。、

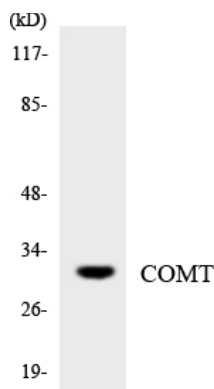
## 研究分野

ステロイドホルモンの生合成;チロシン代謝;

## 画像データ



COMT抗体を用いたHUVECおよびHepG2細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



COMT抗体を使用したJurkat細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。